

放射性物質の影響対策は

出荷制限解除へ検査実施



藤原 米光 議員
(明和会)

Q 放射性物質の影響対策について、露地栽培原木生シイタケ、コシアブラの出荷制限の経緯と今

後の対策、牧草・野菜・水稲等への影響の見直しをどうとらえて対応していくのか伺う。

A (農林水産部長) 露地栽培原木生シイタケは、4月の測定で7戸、5月の測定で3戸、コゴミヤコシアブラも一部から基準値を超えるセシウムが

検出され、出荷自粛要請を受けたが、今後、それぞれの食品の安心安全を第一に出荷制限の解除に向けて対策を講じていく。

Q いわてデステイネーションキャンペーンがJR東日本、県、市町村一体

となり繰り広げられているが、市は、より積極的に市内各観光地等への誘客策を進めるべきではないか。また、交流人口の実績と本年度の見直しを伺う。



出荷制限されている原木シイタケのほだ場

地域まちづくりを担う人材育成

ネットワークによる情報の共有



高橋 久順 議員
(平和環境社民クラブ)

Q 地域力をつけ地域自治を推進するには、人材力のウエイトが大きいですが、地域を引っ張るリーダー

やリーダーを支える人々の存在が必要である。そこで、行政の立場と住民としての立場を合わせ持つ力を発揮させるため、個々の人材力の育成強化や人材力の相互交流とネットワークの強化、人材力を補充するアドバイザーの招へいなどの支援

が必要と考えるが、今後の人材育成と担い手育成の施策について伺う。

同士の交流もリーダーの質的向上につながるから、本年からコミュニティのネットワーク化を実施する。これによって、互いにタイムリーな話し合いができるほか、情報の交換や共有ができることになる。各コミュニティの状況に応じて実践的なものと研修とのバランスを考えて対応し支援していく。



花北地区コミュニティ協議会研修視察(7/3)

行政評価の実効性は

コスト意識や業務改善につなげる



板垣 武美 議員
(地域政党いわて)

Q 行政評価は自治体の「経営改革」の核心的ツールであるが、本市の行政評価の実効性はどのよう

に担保されているか。

A (政策推進部長) 5月から前年度の事務事業を振り返り評価を行い、その結果を受け、6月には施策評価を実施しコスト意識や業務改善など職員の意識改革につなげている。また、年度当初に掲げた各部の経営方針・事務

事業の中間評価により課題を整理し、次年度の方向性を検討し、実施すべき事業の構築等に着手することとしている。



第2回花巻市総合計画市民会議でのグループワーク(5/24)

が、本市の協働事業の提案方法や採択基準などのルール等は明示されているか。

A (政策推進部長) 昨年8月に策定した市民と市との協働指針により、市民の主体的な取り組みに市が協力するものや、市の取り組みに市民の協力をいただくなど、さまざまな形態の中で、事業目的や効果を個別に検討・判断し、必要に応じて実施していく。



観光復興に向け期待される東北観光博(新花巻駅案内所)

東北観光博の本市への誘客策

銀河鉄道で賢治と遠野物語に



松田 昇 議員
(花巻クラブ)

Q 観光庁は、昨年の東日本大震災から落ち込んだ観光復興に向け、東北地方における旅行需要を

喚起する「東北観光博」を本年1月から来年3月31日まで実施しているが、この観光博における本市の誘客策を伺う。

A (商工観光部長) 本市は遠野市と「銀河鉄道で行く『賢治』と『遠野物語』の世界」をテーマに平泉世界遺産も取り込んだ誘

客に努めている。また、復興応援ツアー「遠野・釜石号」や平泉・花巻間「ゴードライナー」運行、「いわてクラシック街道」等で宿泊客拡大に努める。

Q 岩手中部広域水道企業団と構成市町とは、圏